

下水道河川・水道・交通委員会
令和 7 年 12 月 12 日
水 道 局

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく令和 6 年度の実施状況について

概要

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づき、
水道局の2024(令和6)年度施策の実施状況等について報告します。

目次

- 1 指標の進捗状況（基本方針6）
- 2 2024(令和6)年度の主な取組（基本方針5）

- 1 指標の進捗状況（基本方針6）
- 2 2024(令和6)年度の主な取組（基本方針5）

1-(1) 指標の進捗状況<水道事業>

- ・2023(令和5)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比16.1%減の5.7万トン
- ・2024(令和6)年度のエネルギー消費量は、2013年度比8.3%減の1,143TJ

<温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況>

上段：実績、下段：削減率（基準年度比）

主な指標	基準値 (2013年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス排出量[万t-CO ₂]	6.8	5.9	6.0	5.7 (▲16.1%)	—
エネルギー消費量[TJ]	1,246	1,292	1,270	1,157	1,143 (▲8.3%)

1-(2) 指標の進捗状況<水道事業>

- ・洋光台水道事務所や川井浄水場本館などでLED等高効率照明を導入
- ・水道局施設において、太陽光発電設備の導入可能性調査を実施
- ・一般公用車298台のうち、40台の次世代自動車等を導入

<対策の取組状況>

主な指標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
LED等高効率照明の導入	23%	22%	29%	34%
太陽光発電設備の導入	5施設	4施設	4施設	4施設
一般公用車における次世代自動車等導入	8%	8%	16%	29%

※2024年度の次世代自動車等の台数 85台 (EV:11台、PHV:1台、FCV:0台、HV:73台)

1-(3) 指標の進捗状況<水道事業>

<その他の取組>

- ・配水ポンプの更新に合わせ、制御方式を効率の良いVVVF制御方式に1か所更新
(2024(令和6)年度末で18か所/24か所)
- ・自然流下系給水エリアをさらに拡大するため、処理能力及び導水能力の増強に向け、西谷浄水場の再整備を推進
- ・その他の再生可能エネルギーでは、小水力発電設備を6か所導入済み

<職員の取組>

- ・会議等でプロジェクトやディスプレイを活用するなど、ペーパーレス化を推進しました
- ・「横浜市グリーン購入の推進に関する基本方針」に基づき、環境に配慮した物品、役務の調達を行いました

目次



- 1 指標の進捗状況（基本方針6）
- 2 2024(令和6)年度の主な取組（基本方針5）

2-(1) 2024(令和6)年度の主な取組

基本方針5 世界共通の課題である脱炭素化への貢献

1 海外諸都市への技術協力・海外インフラビジネスの推進

- インドネシア国北スマトラ州での安全な24時間給水やマラワイ国リロングウェ市での無収水対策能力の強化を目指したプロジェクト、またアフリカ地域の都市上水道技術者を養成するための研修等を通じ、アジア・アフリカ地域を対象に海外研修員の受入や職員派遣を行い、オンラインも活用しながら持続可能な水道事業に関する技術協力を実施しました。横浜水ビジネス協議会会員企業に企業PRの機会を提供するなど海外水ビジネス展開も支援しており、今後も公民連携による技術協力を推進していきます。



インドネシア国における技術協力



海外展示会での企業PR

2-(2) 2024(令和6)年度の主な取組

基本方針5 世界共通の課題である脱炭素化への貢献

3 国や国内のゼロカーボンシティ等との連携強化・情報発信

- 間伐やドローンを活用したナラ枯れ被害状況の把握及び被害抑制のためのくん蒸処理により、道志水源林を適正に管理することで、森林のCO₂吸収に貢献し、脱炭素化に寄与しています(2024(令和6)年度整備面積(実績):57ha、くん蒸処理:1,630本)。

今後は、新たな道志水源林プラン(第十二期プラン)を策定するとともに、引き続き、企業・団体と協働で水源林保全に取り組む「水源エコプロジェクト W-eco·p(ウィコップ)」を推進し、森林環境の保全と水源の安定供給に取り組んでいきます。



ドローン作業風景



ナラ枯れ被害



道志水源林での間伐作業